

令和元年度シラバス

科目	英語表現 I	学年・類型	1年・共通	単位数	2単位
	教科書	EMPOWER ENGLISH EXPRESSION I (桐原書店)			
	副教材等	教科書準拠 WORKBOOK			
学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養います。また英語での表現活動の基礎となる文構造や文法事項について総合的に学習します。さらにコミュニケーションを円滑にしたり、気持ちや情報、考えや意図などを伝える技量を育てます。				
学習心得	与えられた話題について、即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話したり、書いたり、発表したりする活動に積極的に取り組みましょう。文法事項の学習はコミュニケーション活動の基本となるものなので、しっかりと理解し、例文を暗唱・暗写する練習や問題演習などに着実に取り組みましょう。予習→授業→復習のサイクルを確立し、参考書などを活用しながら自律的に学習に取り組む習慣を身に付けましょう。				
評価方法	各学期の評価は、授業中の学習活動に取り組む姿勢や発表、授業ノート・プリント・課題などの提出物、中間・期末の定期考査及び小テスト、スピーキングテスト等の成績などを総合して行います。学年末の評価は、各学期の評価を平均することで行います。				
	単元(予定時数・実施時数)	主な学習活動			
一学期	Part 1 Unit 0	・英語の基本構造を振り返り、高校英語の準備をします。			
	Part 1 Unit 1 中間考査 (12・)	・語順に注意して文を組み立て、簡単な紹介文を作り伝えます。			
	Part 1 Unit 2	・現在・過去・未来の時制を駆使し、自己紹介の形を学びます。			
	Part 1 Unit 3	・現在や過去のある時点までに経験したことを完了形を利用し、表現します。			
	Part 1 Unit 4 Part 1 Unit 5 期末考査 (12・)	・話し手の主観的な判断を述べることで、意見交換の仕方を学びます。 ・受動態を用いて、行為を受ける側を話題の中心にする方法を学びます。			
二学期	Part 1 Unit 6	・不定詞を利用し、予定や義務についてどのように述べるかを学びます。			
	Part 1 Unit 7	・習慣や完了したことなど、動名詞の特徴を生かした表現を学びます。			
	Part 1 Unit 8 中間考査 (13・)	・分詞の性質から、「～している」「～された」という動作・状態を含んだ表現を学びます。			
	Part 1 Unit 9	・2つ以上のものを比較し、違いや自分の考えの表現の仕方を学びます。			
	Part 1 Unit 10 Part 1 Unit 11 期末考査 (13・)	・関係詞を用いて、人や物について効率よく説明する方法を学びます。 ・現在・過去・未来の仮想状況を表現するために、仮定法を学びます。			
三学期	Part 2 Unit 1	・まとまった内容の英文を書き、例を示して説明することを学びます。			
	Part 2 Unit 2	・2つのものを対比して、逆接表現を盛り込むことで効果的に説明する方法を学びます。			
	Part 2 Unit 3	・簡潔で分かりやすい英文を用い、順序を効果的に説明する方法を学びます。			
	Part 2 Unit 4 Part 2 Unit 5 期末考査 (20・)	・理由や原因を示す語句を適切に使用し、まとまった発表の方法を学びます。			